

令和5年（2023年）12月26日

さて、いよいよ2学期も最後の日を迎えました。2023年もあと残り僅かです。皆さんにとってこの一年はどんな年でしたか？

この一年を振り返るといろいろありました。WBC優勝や阪神タイガースの日本一、そして大谷翔平選手の活躍など野球の話題に事欠かない一年でした。それ以外でも特に若い人たちの活躍は私たちに夢や活力を与えてくれました。一方で、闇バイトやジャニーズ問題などは、若者にとって身近で、考えさせられる事件も多く起こりました。そしてウクライナやイスラエル・パレスチナの状況に目を向けると、子供や女性を含む民間人の犠牲の多さにはとても心が痛みます。以前にも話しましたが、私たちは大勢の中の「一人」ではなく、ひとりひとりがかけがえのない命をもった存在です。違う人間どうしが、どうしたらお互い気持ちよく生活を送れるのか、お互いの違いを尊重しながら、対話をしていく必要があると感じます。

さて中野西の一年を振り返ると、今年も皆さんの頑張りがピカリと輝く一年でした。卓球部のインターハイ、ソフトボール部の合同チームでの北信越、マーチングの東海大会など挙げたらきりがありません。また ABMORI をはじめとした各種ボランティア活動や、探究学習で地域に飛び出し、自分達の力を確かめたり、地域の方々と交流したりとアクティブに活動する姿もありました。校内に飾られた書道や美術の作品には皆さんの伸びやかさが表れています。成果のあるなしにかかわらず、様々なことに挑む姿に成長を感じます。そんな姿を私のみならず、先生方は嬉しくそして頼もしく感じて、皆さんを応援してくれていると感じる一年でした。また、この頃の文化展ではそれぞれの文化部が精一杯発表する姿が印象的でした。先生バンドも登場しましたが、生徒も先生たちも一緒になって創り上げる学校は素晴らしいなと改めて感じます。

長い2学期でしたので、この冬休みはいつものことながら、「自分のメンテナンス」に時間を使ってみましょう。

昨年末同様、私の好きなヨシタケシンスケさんの絵本を紹介したいと思います。今回は『あつかったら ぬげばいい』です。

【一部 朗読】

この絵本はヨシタケさんらしい絵とともに、見開きの左ページに現在の状況があつて、右ページにその対処法がかかれています。ホッとさせる絵本です。「あつかったら」→「ぬげばいい」と、いたってシンプルで、思わず「そうだよ」と笑ってしまう無理

のないアドバイスがあります。当たり前のような回答でも、シンプルに考えるということが意外に思いつかず、新しい視点を私たちに与えてくれるな、と感じる絵本です。何だか一生懸命「頑張らなくっちゃ」と思う毎日に、ちょっと力を抜いて考えようよ、というメッセージをくれます。

難しい問題が多くある、しかも正解がない、見通しがきかない時代だと言われます。大きな課題や難問、深い悩みは小分けにして、時には世の中の流れに乗かって順応しながら、絵本のように自然体にシンプルに考えていくことが必要なのかもしれませんが。その中で自分にとって大切なことは何なのか、と確認しながら生きていくことがこの時代に求められているのかな、とも感じます。冬休み。この絵本のように、顔を書いたミカンを話し相手に、自分の2023年の頑張りを振り返り、少しゆったり自分をメンテナンスして心の余裕を取り戻し、そしてまた、素敵な笑顔で新年にお会いしましょう。

最後に、これから受験がある3年生の皆さん、大事な挑戦、大事な勝負です。重ねた努力は必ずあなたに何かをもたらします。人生の大事な時です。頑張ってください。応援しています！

では皆さん、1月9日に元気にお会いできることを楽しみにしています。よいお年をお迎えください。